

生涯学習施設
アクティブライフ井原



ふれあいプラザ



フィットネスルーム 利用可能人数 30人

1f

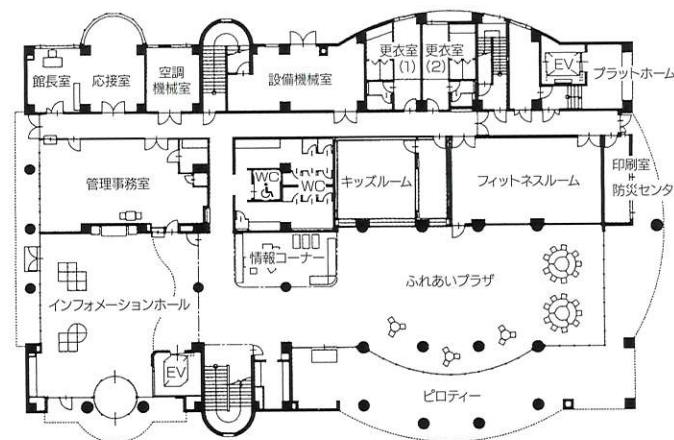
ふれあいプラザには、生涯学習に関するさまざまな情報の提供や、学習者への相談窓口を設けています。

また、展示機能も備え展示発表会などにもご利用できます。

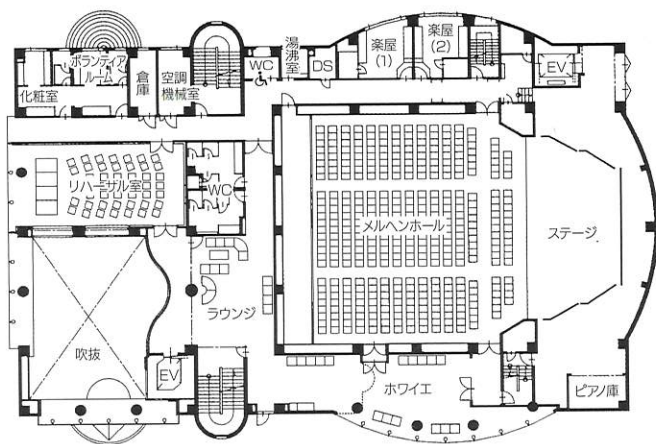
フィットネスルームはバレエ・ジャズダンス・エアロビクス・室内スポーツなど気軽な健康づくりに最適です。



インフォメーションホール



2f



メルヘンホール(舞台)



楽屋

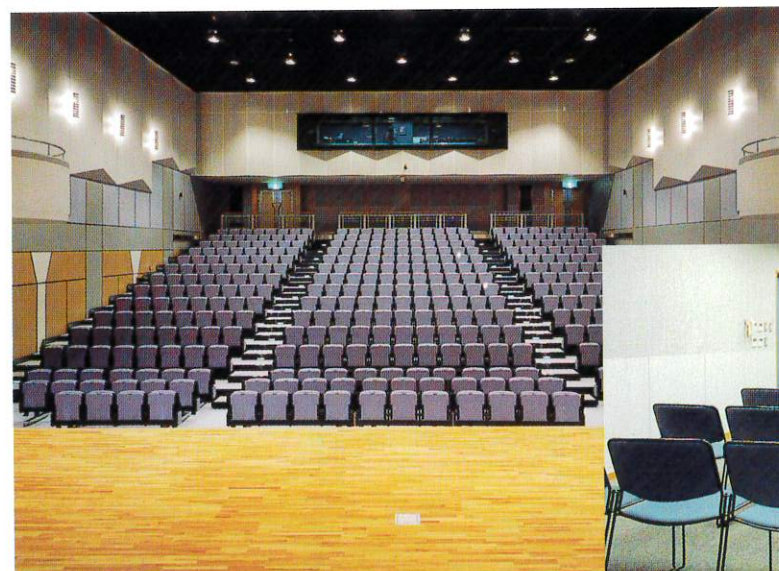
メルヘンホールは、臨場感あふれるサウンドを実現する401席の多目的ホールです。

特に音響には、こだわりをもち「子守唄の里井原」にふさわしいアコースティックな響きを追求しました。

コンサート・演劇・ミュージカル・講演などが可能になっています。

客席は、ロールバック電動システムを採用し、椅子を収納すれば大きな空間を生み、多目的な学習・活動スペースとして利用できます。

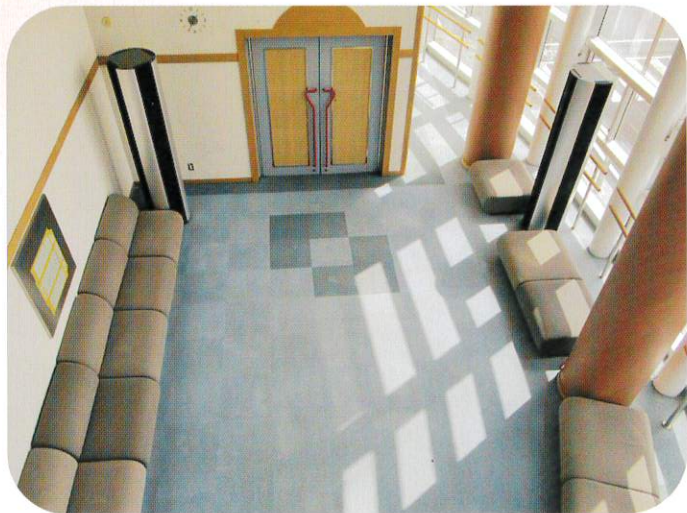
また、特殊防音を施したリハーサル室ではホールでの催しのリハーサルはもちろん、音楽グループ等の練習会場としても利用できます。



メルヘンホール(客席) 利用可能人数 401人



リハーサル室 利用可能人数 30人



ホワイエ(2F)

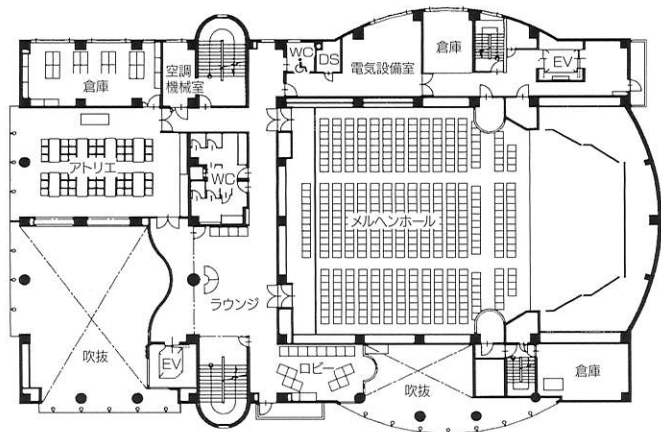


アトリエ 利用可能人数 48人

3f

アトリエは、絵画・彫塑・工芸など幅広い創作活動にご利用いただき、これまでの「観る」人から「創る」人をも応援します。

まさに、無限に広がる新しい文化の創造スペースです。

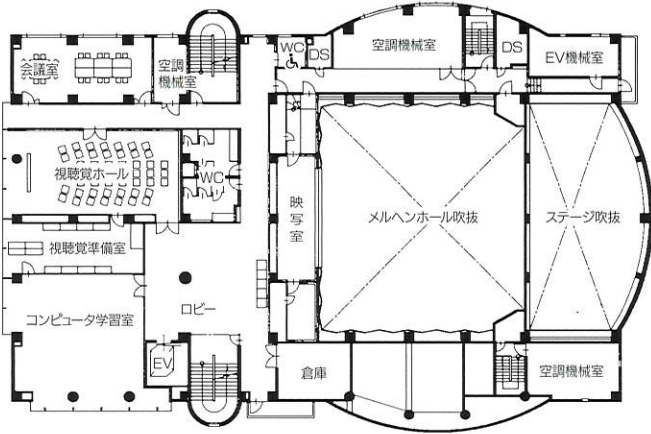


ラウンジ



ロビー

4f



情報化社会に対応できる人材育成のため、パソコンを配したコンピュータ学習室は、基礎的学習から専門的学習まで幅広いニーズに対応できます。

また、高品位の映像で臨場感あふれる視聴覚ホールや、小人数の講習会・研修会などに利用できる会議室もあります。



コンピュータ学習室 利用可能人数 18人



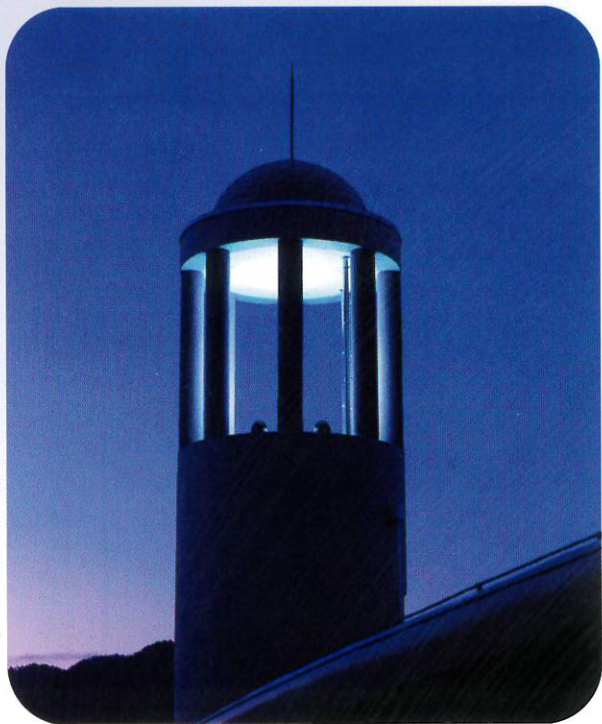
会議室 利用可能人数 20人



映写室



視聴覚ホール 利用可能人数 30人



メルヘンタワー
最上部に位置し、駅前通りのシンボルとなっています。



和室 利用可能人数 30人



水屋



多目的学習室 利用可能人数 40人

5f

畳は肌にやさしく、自然に心を和やかにしてくれます。

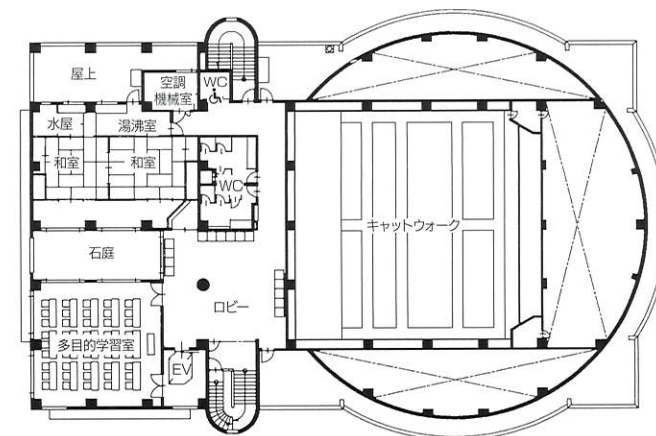
和室は、茶道・華道をはじめとする伝統文化の学習の場としてご利用できます。

また雪見障子の向こうには石庭が広がり、心安らぐひとときが生まれます。

多目的学習室では、地域の集会・研修会・講習会など幅広くご利用いただけます。



石庭



アクセスマップ



駐車場図



施設概要

階	施設名	面積	階	施設名	面積
1階	インフォメーションホール	127m ²	3階	アトリエ	97m ²
	ふれあいプラザ	226m ²		倉庫	48m ²
	キッズルーム	53m ²	4階	コンピュータ学習室	94m ²
	フィットネスルーム	70m ²		視聴覚ホール	77m ²
	情報コーナー	30m ²		視聴覚準備室	34m ²
	その他 管理事務室 館長室		会議室	48m ²	
	2階	メルヘンホール	254m ²	5階	多目的学習室
リハーサル室		78m ²	和室		103m ²
楽屋×2		33m ²	その他屋上庭園		
化粧室 ボランティアルーム		34m ²	PH1階	メルヘンタワー	

専用駐車場明細

No.	駐車場名	台数
①	第1駐車場	33台
②	第2駐車場	18台
③	第3駐車場	37台
④	第4駐車場	32台



- 休館日
1. 毎週月曜日
 2. 祝日 (祝日が土・日曜日に当たる場合は除く)
 3. 年末年始
(12月28日から翌年の1月4日まで。)
- 開館時間
1. 平日 午前9時から午後9時まで
 2. 日曜日 午前9時から午後5時まで

■工事概要

着工年月日	平成5年3月25日
竣工年月日	平成6年3月22日
開館日	平成6年6月27日
敷地面積	1,656.53㎡
建築延面積	3,924.62㎡
規模・構造	地上5階 鉄筋コンクリート造



緞帳

メルヘンの国から

この作品は、見る人を不思議なファンタジーの世界へさそいこみ、はてしない夢をかきたてる。

できあがった鑄型の中に溶かした白銅と真ちゅうをいくつかの湯口から同時に注ぐ時、その中で練り広げられる創造の営みは、人の立ち入ることのできない神のしわざともいえる。

田中賞選考委員
武蔵野美術大学名誉教授 向井良吉 先生 作



モニュメント

TO THE SKY

黒みかげ石(アフリカ産)を研磨したシャープなかたちは知性を表現し自然の割肌は力を象徴する。

空に向かってゆるやかにのびあがるかたちは井原市の未来への飛躍をイメージすると共に近代的な建築と調和し、さわやかな空調を生みだす。

田中美術館運営委員
田中賞選考委員
東京芸術大学教授
美術学部長 澄川喜一 先生 作



スタンドグラス

FLAT GLASS FOR IBARA

インディゴブルー(藍)をガラスでは瑠璃色と呼び色ガラスの中ではもっとも愛されている。

その瑠璃色を基調に井原市の上昇する自由な活力を表現している。

(藍)は井原市の繊維の原点であり、将来も広く人々に愛されつづけることと確信する。

ガラス工芸作家 中川千明樹 先生 作